



## 網走市ゼロカーボンシティ宣言

国は2020年10月に、北海道は2020年3月に、2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする、『2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現』を目指すことを宣言しました。

本市では、カーボンニュートラルに向けて、2022年4月に、再生可能エネルギーを活用し、二酸化炭素排出量を削減することを目的に、自治体新電力となる「あばしり電力株式会社」を設立し、2023年4月より太陽光発電事業を開始するとともに、2023年3月には「網走市地域再生可能エネルギー導入戦略」を策定したところでございます。

脱炭素を様々な環境課題解決のための柱としてとらえ、市民・事業者・市がともに協力し、地域の資源や特性を生かしながら、産業の振興と住民の利便性の向上を図り、将来の世代も安心して暮らすことができる社会の実現を目指します。

ここに、網走市は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする、「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和5年（2023年）6月13日

網走市長 水谷 洋一